

安全報告書

2011



伊賀鉄道株式会社

目 次

1. お客様をはじめ地域の皆様へ	1
2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方	1
3. 平成23年度の安全目標	2
4. 平成22年度の事故等の発生状況	2
(1) 鉄道運転事故	2
(2) 輸送障害	2
(3) インシデント	2
(4) 行政指導等	2
5. 輸送の安全確保のための取り組み	3
(1) 経営トップによる現業職場巡視	3
(2) 安全マネジメント体制の構築	3
(3) 内部監査	3
(4) 係員の教育訓練	4
(5) 緊急時対応訓練	4
(6) ホーム検知装置の新設	4
(7) 設備の管理	4
6. 安全管理体制	5
(1) 安全管理組織	5
(2) 各管理者の役割	5
7. お客様や地域の皆様との連携とお願い	6
(1) こども110番の駅	6
(2) 正しいご利用についてお願い	6
(3) 踏切道での事故防止についてのお願い	6
(4) 自転車の車内持ち込みについて	7
(5) 無料レンタサイクルについて	7
(6) 「お客さまの声」を受けて	7
8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先	8

1. お客様をはじめ地域の皆様へ

伊賀鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。

平素は、当社鉄道事業に対してご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、平成19年10月1日に近畿日本鉄道株式会社から分社し、本年10月1日で4周年を迎えます。開業以来、関係自治体、鉄道をご利用されるお客様、地域住民の皆様方から多大なるご支援を賜りました。また、各種イベントやボランティア活動等にご協力をいただきました皆様方に御礼申し上げます。

当社は、会社指針の第一として「安全意識の高揚」を掲げ、法令の順守とともに安全・安心輸送に努め、伊賀地区の地域輸送を担う輸送機関として使命を全うしてまいりました。おかげさまで今日までの安全運行も、ひとえにお客様および地域の皆様のご協力があればこそであり、深く感謝申し上げます。今後も安全・安心な鉄道輸送を根本に、地域に密着した鉄道を目指し更なる努力をしてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4項に基づき、伊賀鉄道における輸送の安全を確保するための取り組みや実態を取りまとめ、皆さまにご理解いただくために公表するもので、当社の「安全への取り組み」について、皆さまからのご意見ご感想をお聞かせいただき、今後の安全輸送に役立てたいと考えております。

平成23年9月

伊賀鉄道株式会社

代表取締役社長 野口 満彦

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

当社では、お客様や地域の皆様の安全・安心を確保し、信頼される企業として社会の発展に貢献するため、法令を遵守し事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための方針や、その他事業活動に関する基本的な方針を次のように定めております。

- (1) 事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 安全確保のため、日頃から危険要素の排除に努めます。

- (4) 常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応しつつ確固とした体制を目指します。
- (5) 万が一事故・災害が発生した場合は、お客様の救護を最優先に行い、他の機関と連携協力を密にし、被害の拡大防止、適切な情報開示、早期復旧に全力を挙げます。
- (6) 安全に関する教育、訓練、研修等を適時適切に実施いたします。

3. 平成23年度の安全目標

経営トップから現場の従業員に至るまで、全員が一丸となった安全管理体制の強化を進めるため、安全最優先を徹底します。具体的には「事故の芽情報の分析および対策の実施」、「新車両の導入」、「異例事態に対応する体制の維持」の3点を目標としてまいります。

4. 平成22年度の事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

ありませんでした。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

① 「保安装置故障（転てつ器転換不良）」

発生日時 平成22年7月30日（金）18時41分頃

概要 猪田道駅転てつ器転換不良のため、列車遅延3本と上下2本の列車を取消しました。

② 「雪害による停電」

発生日時 平成23年2月14日（月）18時08分頃

概要 降雪により沿線の竹が高圧線に接触したため停電となり、列車遅延4本と上下28本の列車を取消し、バス代行輸送を行いました。

(3) インシデント（事故に至らない事故の兆候）

ありませんでした。

(4) 行政指導等

ありませんでした。

5. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 経営トップによる現業職場巡視

経営の最高責任者である社長および輸送の安全確保に関する業務を統括する安全統括管理者が、定期的に現業職場を巡視して、係員との意見交換を通じ現業と一体となった安全への取り組み状況の確認を行っております。

(2) 安全マネジメント体制の構築

① 事故の芽情報の分析および対策の実施

鉄道運転事故、輸送障害、インシデントに至らないまでもこれに発展する可能性のある軽微なミス、トラブル、ヒヤリ・ハットの事象につきましては、「事故の芽」として吸い上げ分析や対策を行い、共有することにより安全意識の高揚を図り、事故の未然防止に努めております。

② 新車両の導入

平成21年度から3カ年計画で車両更新を計画し、昨年度までに4編成（8両）の200系車両を導入し、保安度の向上、輸送力の向上、乗り心地の向上等に努めております。引き続き、本年度も1編成（2両）を導入し、全車両が更新となります。



③ 異例事態に対応する体制の維持

事故・災害等を想定した訓練を実施するほか、関係自治体、関係会社の訓練にも参加し、異例事態に対応する体制の維持に努めております。

(3) 内部監査

当社では、平成19年10月に制定した「安全管理規程」に基づき、安全管理体制の実施状況を確認するため内部監査を実施いたしました。（平成23年3月実施）

監査の結果については、安全目標に取り入れPDC Aサイクルでスパイラルアップを図ります。

(4) 係員の教育訓練

年間指導計画に基づき、知識・技能の維持向上を図るため、乗務員および駅係員を対象に毎月教育訓練を実施しています。また、運転士については、監督者による添乗指導に努め、事故防止の基本である基本動作の励行と運転技能の向上を図っています。

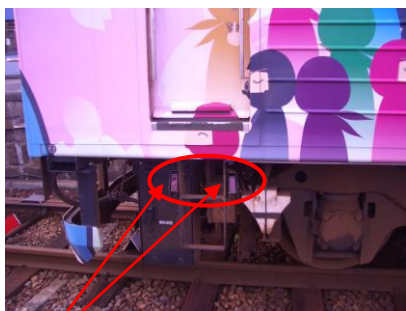
(5) 緊急時対応訓練

平成22年10月15日に、当社の監督者および乗務員・駅係員のほか、近畿日本鉄道株式会社の運輸部門社員と合同で、閉そく変更時の運転取扱いの対応訓練を丸山駅～伊賀神戸駅間で実施いたしました。

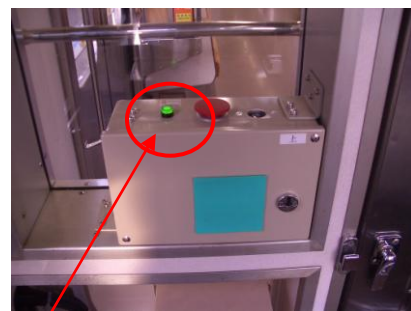


(6) ホーム検知装置の新設

車両床下に取り付けたセンサーが、ホームのあることを検知したときのみ運転室にある扉開スイッチのホーム検知表示灯が点灯し、扉開操作が可能となります。センサーは、先頭運転台左右の床下に2個ずつ取り付けられており、2個とも検出したときのみホームがあると判断します。



ホームセンサー



ホーム検知表示灯

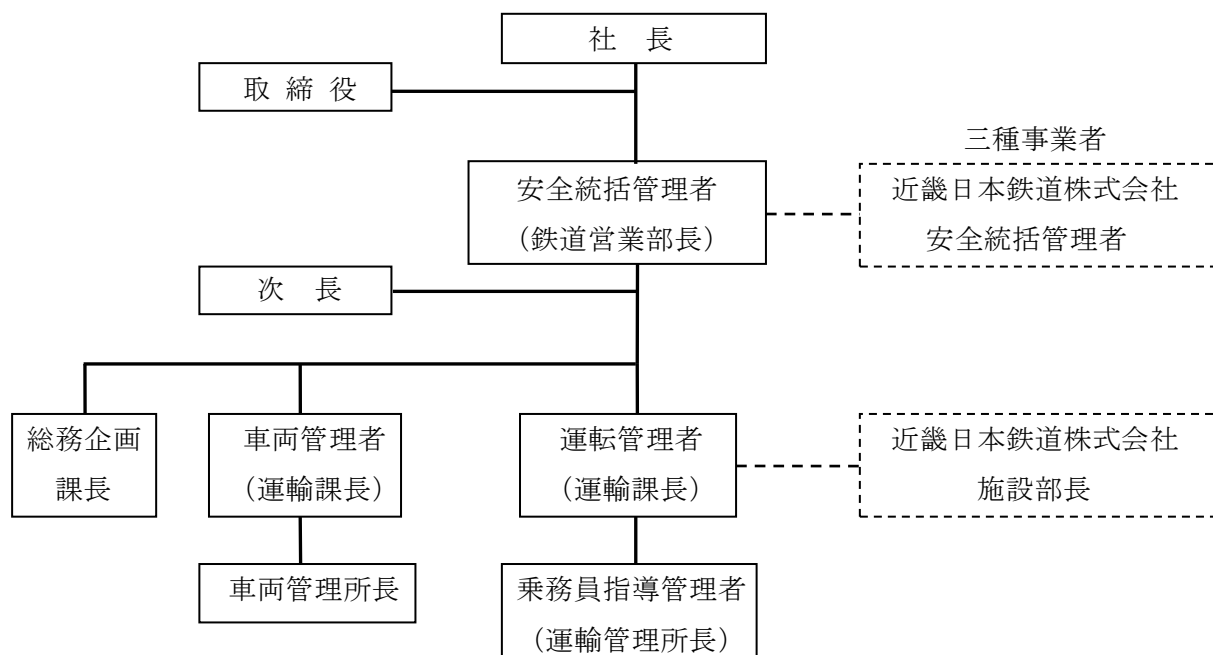
(7) 設備の管理

設備に関しては、第三種鉄道事業者である近畿日本鉄道株式会社での公表となります。

6. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社の「安全管理規程」に基づき、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にしたうえ、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (鉄道営業部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行管理、乗務員等の育成及び資質の維持、その他運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 (運輸管理所長)	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。
車両管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
車両管理所長	車両管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。
投資・要員担当 (総務企画課長)	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に必要な投資および要員に関する事項を統括する。

7. お客様や地域の皆様との連携とお願い

(1) こども110番の駅

上野市駅では、「こども110番の駅」として地域の子供たちを守るための取り組みを行っております。子供が助けを求めてきたとき、社員が保護し、警察に通報するなどの対応をします。そのほかの駅員が配置されている駅でも同じように対応します。



(2) 正しいご利用についてお願い

当社では、駅員のいない駅での扉の取り扱いを、混雑した列車を除き先頭車の前扉に限定しております。乗車券は、お降りの際に先頭車の運賃箱へお入れ下さい。乗り越しまたは切符をお持ちでないお客様は運賃箱で精算をお願いいたします。定期券をお持ちのお客様は運転士にお示し下さい。正しいご乗車にご協力をお願いいたします。

(3) 踏切道での事故防止についてのお願い

踏切道内で自動車がエンスト、落輪等で脱出できないときは、各踏切道に設置されている「非常ボタン」(一部の踏切道を除く)を直ぐに押してください。



(4) 自転車の車内持ち込みについて

当社では、持ち込み料無料で車内に自転車をお持ち込みいただける「サイクルトレイン」を実施しています。対象となる列車や注意事項等の詳しい情報は当社ホームページをご覧ください。



(5) 無料レンタサイクルについて

当社では、茅町駅においてビジネス・観光・お買いもの等に便利な交通手段として「無料レンタサイクル」を実施しています。



(6) 「お客さまの声」を受けて

当社では、上野市駅にご意見箱を設けてお客様から承るほか、沿線自治体等からのご意見やご要望を受け改善に努めております。また、災害や事故等により列車運行に多大な影響が生じる場合は、当社ホームページでご案内いたします。今後も、お客さまのご意見・ご要望等を経営に反映させ、安全の確保を図りたいと考えております。

8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

【連絡先】 伊賀鉄道株式会社 鉄道営業部 総務企画課

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内6-1番地の2

T E L 0595 (21) 0863 F A X 0595 (21) 1070

月～金（祝日を除く） 9:00 ～ 18:00

※ 伊賀鉄道の時刻、運賃、運行状況、イベント等の情報はホームページをご覧ください。

伊賀鉄道ホームページ <http://www.igatetsu.co.jp>